

| | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--------------|--|-------------|--|--|--|
| 試合番号 : 257 | | 試合会場 : 町田市立総合体育館 | | | | 観客数 : 1,200 | | | |
| 開始時間 : 14:00 | | 終了時間 : 16:16 | | 試合時間 : 02:16 | | 主審 : 村中 伸 | | 副審 : 服部 篤史 | |
| FC東京 通算 8勝 23敗 ポイント : 31 | | サントリーサンパーズ 通算 28勝 2敗 ポイント : 79 | | 2 | | 3 | | FC東京が日曜日に強いというのは試合前からある程度想定していたつもりですが、想定をさらに上回っていたと思います。 1・2セット目に関しては、粘り強い守備からのプレモビッチ選手の攻撃に対応できませんでしたが、本日に素晴らしいパフォーマンスだったと思いますし、サンパーズにとっても多くの学びがあった試合でした。3セット目以降は、サンパーズ本来の持ち味を発揮することができ、勝利することができました。これが今年のサンパーズの強みだと思うので、苦しい試合を勝ち切れて良かったです。 2日間準備いただいた皆様、会場に足を運んでくれた皆様、今日もありがとうございました。残り試合も少なくなってきましたが、引き続きサンパーズをよろしくお願ひします。 | |
| 今日のは積極的なサーブと、サントリーの完成度の高い組織的なブロックに対して、我々のオフェンスがよく機能していたことで、2セットを連取することができた。柳田のサーブに苦しめられ試合をものにするのができませんでした。我々の選手は首位のチームに対し、しっかりと戦ってくれたことを誇りに思います。 残り4戦、ファンの皆さまにチームの成長した姿を見せられるように頑張ります。 本日も応援ありがとうございます。 | | 25 第1セット 21 26 第2セット 24 19 第3セット 25 17 第4セット 25 8 第5セット 15 | | 0 | | 3 | | 今日最終のホームゲームを勝利で締めたいFC東京と首位を守りたいサントリーサンパーズの対戦。第1セット、序盤は、FC東京が、平田のサーブエース、栗山のブロックなどでリードを奪う。中盤も、FC東京は、佐藤のサーブエースなどで優位に立つ。対するサントリーは、鶴田らの好レシーブから小野や柳田がアタックを決め、応戦する。中盤、サントリーはムセルスキーの2連続サーブエースで追いつき、接戦に持ち込む。終盤、FC東京は、ブロックからの切り返しの攻撃が功を奏し、点差を広げる。そのまま4点差を守り、FC東京がセットを先取する。第2セット、序盤からFC東京はプレモビッチや栗山のアタックが決まり、優位に立つ。対するサントリーは、中盤、ムセルスキーのサーブエースから点を重ねるが、FC東京は、平田や佐藤のアタック、迫田のブロックで応戦し、突き放す。終盤、サントリーは、ムセルスキーの3本のサーブエース、塩田のブロックなどで逆転する。その後は1点を争う熱戦となり、最後は、プレモビッチがアタックを決め、FC東京がセットを連取する。第3セット、序盤は、FC東京は手原、サントリーは大宅が攻撃陣を壊し、接戦となる。特にサントリーの柳田がバックアタックを含む攻撃を次々と決める姿は、会場を沸かした。中盤以降、サントリーは、小野の活躍により試合を優位に進め、長友を投入し粘るFC東京を突き放し、このセットを取り返す。第4セット、序盤、サーブで攻めるサントリーが試合を優位に進める。終盤、FC東京は、長友を入れてリズムを変えようとするが及ばず、サントリーは藤中や柳田らの活躍により、リードを広げてこのセットも取り、フルセットとなる。第5セット、序盤からサントリーの勢いは止まらず、完全にFC東京を封じ込め、大量リードを守ったまま、終盤へ。FC東京は、迫田や平田、黒田がアタックを決め、最後まで諦めずに意地を見せるも、サントリーがフルセットで勝利を収めた。 | |
| 試合番号 : 258 | | 試合会場 : 三島市民体育館 | | | | 観客数 : 606 | | | |
| 開始時間 : 13:00 | | 終了時間 : 14:11 | | 試合時間 : 01:11 | | 主審 : 澤 達大 | | 副審 : 江下 毅 | |
| 東レアローズ 通算 13勝 16敗 ポイント : 37 | | パナソニックパンサーズ 通算 26勝 6敗 ポイント : 76 | | 0 | | 3 | | ファイナル3を確定する為、今日も非常に重要な試合でした。サーブが効果的で、昨日と同じく今日もブロックがしっかりしていた。本日に完璧な試合でした。 来週も大事な試合になるので、応援よろしくお願ひします！ | |
| 今日試合は、パナソニックが全ての面で上回っていたと思います。戦術面だけでなく、気持ちの作り方や持ち方も上回っていたと感じています。 ホームゲームの中このような試合をしてしまい申し訳ございませんでした。 また来週も三島で試合ができるので、今日みたいな試合にならぬよう作ります。 2日間たくさんの応援ありがとうございます。 | | 17 第1セット 25 20 第2セット 25 15 第3セット 25 第4セット 第5セット | | 0 | | 3 | | 地元静岡での勝利をしたい東レアローズと、ファイナル3進出を決めたいパナソニックパンサーズの一戦。 第1セット、序盤からパナソニックが素晴らしいディグを見せ、その切り返しを確実に得点にする。パナソニックは終盤まで全ての選手がサーブ、アタック、ブロックで高い集中力を発揮し、東レの反撃を寄せ付けずにセットを先取した。 第2セット、パナソニックはセッター深津の正確なトスにアタッカー陣が応え、久原、清水、クビアクが得点を重ねていく。対する東レは峯村のサーブエース、落合のアタックなど途中交代した選手が流れを作る。しかし終盤もクビアク、久原を中心にアタックを決めたパナソニックがこのセットも連取した。 第3セット、パナソニックはミドルブロッカーを攻撃の軸にして東レを突き放す。スパイクレシーブの切り返しは清水に集め、要所では小宮がブロックで得点し、東レに隙を与えない。抜群のチーム力でパナソニックがこのセットを取り、11連勝を果たした。 | |
| 試合番号 : 259 | | 試合会場 : 堺市金岡公園体育館 | | | | 観客数 : 424 | | | |
| 開始時間 : 13:00 | | 終了時間 : 14:33 | | 試合時間 : 01:33 | | 主審 : 原 啓之 | | 副審 : 戸川 太輔 | |
| 堺ブレイザーズ 通算 15勝 17敗 ポイント : 43 | | ジェイテクトSTINGS 通算 21勝 9敗 ポイント : 60 | | 0 | | 3 | | 1・2セット目は自分達のペースで進めることが出来ましたが、3セット目はミスからリズムが崩れていき劣勢となりました。その中でも変わった選手全員が力でも耐えてくれ、3-0で勝ち切ることが出来ました。 これからも厳しい戦いが続きますが、全員で乗り越え上を目指していきます。 堺大会の2日間、たくさんの応援ありがとうございます。 | |
| 今日試合はジェイテクトの素晴らしいブロック、ディフェンスに我々の攻撃を封じられてしまいました。我々としてはもっと安定したスパイクを打っていく必要があると思います。天皇杯のチャンピオンチームに一失報したかたのようですが、力及ばず残念な結果になってしまいました。 本日も沢山の方の応援ありがとうございます。来週も引き続き、サポートを宜しくお願いします。 | | 13 第1セット 25 19 第2セット 25 27 第3セット 29 第4セット 第5セット | | 0 | | 3 | | ホームでの連敗を阻止したい堺ブレイザーズとファイナル3進出には絶対負けられないジェイテクトSTINGSとの最終戦。 第1セット、ジェイテクト西田のポイントから始まり、フェリベのスパイクで得点を重ねていく。対する堺は樋口、ジョンにボールを集めるもジェイテクトのブロックに捕まり、なかなか追いつけない展開となる。中盤、堺の松本、高野がスパイクを決めて追いつきを見せるが、西田の連続サーブエースで引き離すとこのセットを先取する。 第2セット、堺は高野に替えて鶴野を投入すると、スパイク・ブロックを決め先行するが、流れを掴んだのはジェイテクト。藤中と替わった郡がスパイクを決めると、逆転してからは堺にリードを許すことなく連取する。 第3セット、流れを変えたい堺はジョンに替えて千々木を先発させる。先制したのは堺。千々木のスパイク、鶴野のサーブエース、樋口のブロックでリードを広げる。終盤、ジェイテクトは西田のスパイクで24-24とデュースまで持ち込むと、そこからはサイドアウトを繰り返して27-28とマッチポイントを掴む。そして最後は福山がブロックを決め、ファイナル3進出へと望みを繋いだ。 | |
| 試合番号 : 260 | | 試合会場 : 岩国市総合体育館 | | | | 観客数 : 1,100 | | | |
| 開始時間 : 13:00 | | 終了時間 : 14:47 | | 試合時間 : 01:47 | | 主審 : 千代延 靖夫 | | 副審 : 林 淳一 | |
| JTサンダーズ広島 通算 14勝 18敗 ポイント : 44 | | ウルフドッグス名古屋 通算 23勝 7敗 ポイント : 67 | | 1 | | 3 | | リーグ戦も終盤となり、無数のデータがある中で、お互いに昨日とは違った事をしていくために1点を争う激しい試合となりました。その中でも我々ウルフドッグス名古屋の特徴の一つであるスピーディーなプレーが表現できたと思います。 残りのレギュララウンドはホームゲームとなります。来週末は豊田合成記念体育館“エントリオ”です。最後までチーム全員で闘い抜きますので我々ウルフドッグス名古屋の後押しほど、よろしくお願ひします。世界中の人々の安心と安全な日々を祈っております。 Best Day Ever! | |
| ホームゲーム最終日に勝つ姿をお見せできなかったことを悔しく思います。 ケガ人も多く、苦しい状態が続いていますが、今のチームでできることをやり切つて、残りの試合を戦っていきます。 本日も沢山の方の応援ありがとうございます。 | | 15 第1セット 25 18 第2セット 25 25 第3セット 22 21 第4セット 25 第5セット | | 1 | | 3 | | 昨日の熱戦を制し、勢いに乗るウルフドッグス名古屋と、ホームゲーム最終戦を制し、勝ち星を積み重ねたいJTサンダーズ広島。 第1セット、序盤から名古屋はクレクのブロックや白岩のスパイクで連続得点を重ねる。JT広島はエドガーにボールを集め奮闘するが、力及ばずセットを落とす。 第2セット、JT広島が抜け出すも、すぐさま名古屋が追いつく。中盤まで繰り返した展開が続く。その後、クレク、近の攻撃から流れを掴んだ名古屋が押し切り、セットを連取した。 第3セット、山本のサーブを起点としJT広島がリードした。名古屋はクレクや高梨の攻撃で応戦するも流れは変わらず、JT広島はセッター金子が多形な攻撃を展開し、セットを取り返す。 第4セット、リズムを掴んだ名古屋が高梨の活躍で連続得点を奪い、JT広島もエドガーにボールを集め猛追、両チーム激しい打ち合いになった。しかし、クレクの勢いは止まらず、名古屋が押し切り接戦を制した。 | |

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。